

横浜でブルキナファソを感じる！

～ 「ブルキナファソナショナルデー記念プログラム 2015」 横浜開催 ～

12月11日（金）、横浜で、「ブルキナファソナショナルデー記念プログラム 2015」（主催：駐日ブルキナファソ大使館）が開催されます。

ナショナルデーは、各国が独立記念日など最も重要な記念日をお祝いしているもので（次ページ参照）、ブルキナファソは、同国（当時のオートボルタ）が自治共和国になった12月11日（1958年）をナショナルデーとしています。横浜は、第4回、第5回アフリカ開発会議の開催地となったことを契機にブルキナファソをはじめアフリカ諸国との交流・連携を深めており、大変光栄なことに、昨年に引き続き「ブルキナファソナショナルデー記念プログラム」の開催の地に選んでいただきました。

今回のプログラムでは、式典のほかブルキナファソの文化を紹介する展示等が行われます。「ブルキナファソ」は、現地の言葉で「高潔な人々の国」という意味です。この機会にブルキナファソの文化を感じてみませんか。皆様のご来場をお待ちしています！

-ブルキナファソナショナルデー記念プログラム-

1 日時

平成 27 年 12 月 11 日（金） 11:00～16:30

2 場所

神奈川県立地球市民かながわプラザ「あーすぶらざ」
（栄区小菅ケ谷 1-2-1 JR「本郷台」駅下車すぐ）

3 主催

駐日ブルキナファソ大使館

共催 横浜市、神奈川県立地球市民かながわプラザ

4 概要

（1）ナショナルデー記念式典（招待者のみ入場可） 13:00～ 映像ホール

フランソワ・ウビダ ブルキナファソ特命全権大使 あいさつ

佐藤祐文 日本アフリカ友好横浜市会議員連盟会長 あいさつ

関山誠 横浜市国際局長 あいさつ

横浜市立港南台第二小学校の皆さんによる合唱・演奏 ほか

（2）映画「タスマ」上映（観覧無料。当日先着 125 名様／満席となり次第受付終了）

15:00～ 映像ホール

（3）関連イベント（入退場自由） 11:00～16:30 螺旋回廊・映像ホール前

・ブルキナファソ民芸品展示販売、アフリカンヘアワークショップ、民族衣装試着
【駐日ブルキナファソ大使館主催】

・ブルキナファソのこどもたちが描いた絵画展示【栄区役所主催】



昨年の記念プログラムで
スピーチするウビダ大使

※取材をご希望の方は直接会場までお越しください。

お問合せ先

国際局国際連携課アフリカ中東担当課長 富岡典夫 Tel 045-671-3813 【記念プログラム全般】

栄区総務部地域振興課長 塗師敏男 Tel 045-894-8390 【こどもたちによる絵画展示】

《参考》ブルキナファソ (Burkina Faso)

■概要 ※

- ・面積
274,200 平方キロメートル (日本の約 70%)
 - ・人口
1,693 万人 (2013 年、世銀)
 - ・首都
ワガドゥグー (Ouagadougou)
 - ・公用語
フランス語
- ※概要、地図等は、外務省ホームページから



■横浜との主なつながり

- ・コンパオレ大統領(当時) 横浜訪問 (TICAD IV [平成 20 年]、TICAD V [平成 25 年])
- ・「一校一国運動」
港南台第二小学校 (港南区)、小菅ヶ谷小学校 (栄区) がブルキナファソについて学習。最近では、平成 27 年 10 月、港南台第二小学校の児童がブルキナファソ大使館の協力のもと同国の食べ物や暮らしについて理解を深めた。
- ・「アフリカン・フェア 2013」出展 [平成 25 年 5～6 月]
経済産業省、ジェトロ主催。横浜市ほか後援。アフリカ各国の産品を展示するイベントがパシフィコ横浜で開催され、ブルキナファソがブース出展。
- ・「日・アフリカビジネスウーマン交流プログラム」 [平成 27 年 1 月]
JICA との連携により横浜で実施。ブルキナファソをはじめアフリカ 8 か国の女性起業家・政府職員が横浜を訪問し、市内女性起業家と交流。
- ・「ブルキナファソナショナルデー記念プログラム 2014」横浜開催 [平成 26 年 12 月]
駐日ブルキナファソ大使館主催、横浜市共催。平成 26 年 12 月 9～13 日、横浜人形の家で、民芸品展示等を通じブルキナファソの文化を紹介するイベントを実施。
- ・「日本アフリカ友好横浜市会議員連盟」設立総会にウビダ大使出席 [平成 27 年 2 月]
- ・市内在住者：4 名 (平成 27 年 11 月末時点)

《参考》ナショナルデー

日本にある各国の大使館は、それぞれの国の独立や建国の記念日などをナショナルデー (国祭日) としてお祝いのレセプションやイベントを開催しています。ブルキナファソは、今年のナショナルデーの記念イベントを横浜のほか三重県津市で開催 (12/8-9)。なお、日本の在外公館は、天皇誕生日を国祭日とし、例年それぞれの地で在外公館長 (大使等) 主催のレセプションを行っています。

《参考》横浜とアフリカのつながり

横浜は、TICAD IV (平成 20 年)、TICAD V (平成 25 年) の開催都市となったことを契機に、アフリカとの関係を深めています。

平成 24 年 10 月～25 年 3 月、「一校一国運動」として市内の小中学生がアフリカ各国の文化・歴史について理解を深めました。また、横浜市は、JICA と連携して水道や港湾分野でアフリカの研修生受入を行うなど技術協力を進める一方、「アフリカビジネスセミナー」を継続的に開催しています。このほか、市内では「アフリカンフェスティバルよこはま」などアフリカに関するイベントが開催され、また、今年 4 月には「よこはま動物園ズーラシア」の「アフリカのサバンナ」ゾーンが全面オープンするなど、さまざまな分野で連携・交流が進んでいます。平成 27 年 2 月、アフリカ諸国との友好を一層促進していくため横浜市会議員有志で、「日本アフリカ友好横浜市会議員連盟」(佐藤祐文会長) が設立されています。